

船にまつわる様々な知識を身につけて、完璧な船長を目指せ!!

覚えることが多い反面試験でも高配点の項目

本書の学科試験でも一番高配点の「運航(一般)」なので、覚える事が結構多い。船体各部の名称、エンジンの構造、コンパスの読み方、航海計算、ロープと、幅広い内容で一冊目が難関しようになるので注意! また、水上で万が一事故に遭った時の対処法もココで勉強。水上ではトラブルに遭った時に救助が遅くなる場合が多いので、まずは自身で適切に対処できる力が必要なのだ。



内容が難しくなって来るツバサ、予習をサボって学科講習をアメるとこうなるので、予日は絶対にそうならないようにしよう!!(笑)!

船に乗る男は天気にも詳しくなければならぬのだ!!

天気記号

☉	晴	☁	曇
☂	雨	☁☂	雪
☁☂	くもり	☁☂	雷は電光

中学校の理科で習った天気記号もイチャから勉強し直そう。結構やくもりの記号は覚えていても、雷なんかまで覚えていない人は意外と少ないんじゃないかな?

船体各部の名称がややふやだと試験問題の内容がちやんと理解できない場合アリ。毎日行われる実技試験でも苦戦するぞ!

ボートの各部名称や備え付けのパーツもシッカリと覚える



例題③

Q 4ストロークガソリンエンジンにおいて、燃料油が燃料タンクからシリンダーに入るまでの経路として正しいものは、次のうちどれか。

- (1)燃料フィルター → 燃料ポンプ → キャブレター → 吸気マニホールド
- (2)燃料ポンプ → 燃料フィルター → 吸気マニホールド → キャブレター
- (3)キャブレター → 燃料ポンプ → 燃料フィルター → 吸気マニホールド
- (4)吸気マニホールド → 燃料フィルター → 燃料ポンプ → キャブレター

答え。(1)

この問題は4ストロークエンジンの細部まで理解していないと解けない難題。この問題の他にも「運航(一般)」では結構な難問が多い。

結びの中でも特に使用頻度が高いのが「もやい結び」だ!!



①ロープの長い部分に小さな輪を作り、②ロープの端を作った輪に下から通し、③下方方向にくぐらせてから端を輪に戻して、④両端から締めて完成! 右下の解いた状態の写真も参考にしながら結んでみよう。

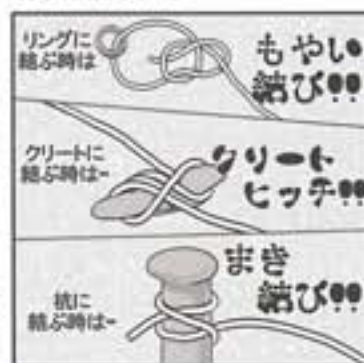
目指せも結びの達人!! 反復練習で地道に覚える

船を係留する時、ロープとロープを直接結び、落水時に差し出されたロープを自分に巻きつける時など、船に乗っていると、いろいろな場面が必要になるのが「ロープワーク」だ。用途によって最適なノットがあり、授業では通材漁所の結びを8〜10種類ほど学ぶ。特に、もやい結び、まき結び、クリート止め、いかり結び、は試験でも出題率が高いのでくり返し結んでみて練習しよう。また、自分では「結べた!」と思っても、微妙に間違っている可能性もあるので、結び終わった後に結びが合っているかチェックしてもらうことも重要だ!



申請時に渡されたロープが、結びの練習用だと学科講習で初めて知ったツバサ。もちろん、この日はどの結びも満足に結べなかった。

種類のリンゴにはもやい結び、船にボートを係留するにはまき結び、用途により最適な結びが出来るように練習あるのみだ!



釣りで使うノットとは別の船用ノットをお勉強

とある日の授業風景4コマ

